



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 株式会社 フライトホールディングス
 コード番号 3753 URL <http://www.flight.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片山 圭一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 松本 隆男
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-3440-6100

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,591	—	230	—	227	—	192	—
25年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 192百万円 (—%) 25年3月期第3四半期 一百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	22.09	—
25年3月期第3四半期	—	—

(注) 平成25年3月期第3四半期につきましては、四半期連結財務諸表を作成していないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		
26年3月期第3四半期	1,598	—	598	—	37.5	
25年3月期	—	—	—	—	—	

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 598百万円 25年3月期 一百万円

(注) 前連結会計年度においては連結貸借対照表を作成していないため、25年3月期の連結財政状態は記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,900 ～2,000	—	115 ～165	—	100 ～150	—	94 ～140	—	11.08 ～16.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	9,456,500 株	25年3月期	8,391,800 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	829 株	25年3月期	800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	8,709,484 株	25年3月期3Q	3,831,000 株

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当社は、平成25年10月1日付で持株会社体制へ移行したため、当第3四半期より四半期連結財務諸表を作成しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更	3
(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国の景気減速懸念等による下振れリスクがあるものの、円高修正や株高により緩やかに回復しつつあります。顧客側のIT投資意欲も、一部で回復傾向がみられます。

このような状況の中、当社の強みであるiPhone等スマートフォンを利用した法人向けソリューションの提案を積極的に行うとともに、iPhone/iPod touch/iPadを利用した「電子決済ソリューション」に係る新製品「Incredist」の販売及び提案活動に注力いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は1,591百万円となりました。損益は、営業利益は230百万円、経常利益は227百万円、四半期純利益は192百万円となりました。

なお、営業外収益に計上されている為替差益9百万円は、主として外貨預金の為替換算によるものであります。

(単位：百万円)

	当第3四半期 連結累計期間	前第3四半期 累計期間(*2)	前年同期比	
			増減額	増減率
C & S 事業(*1)	424	537	△113	△21.1%
	サービス事業	1,166	40	1,125
売上高	1,591	578	1,012	174.8%
C & S 事業(*1)	23	74	△50	△68.2%
	サービス事業	360	△72	433
全社	△153	△160	6	—
営業利益	230	△158	389	—
経常利益	227	△215	442	—
四半期純利益	192	△236	428	—

(*1) C & S 事業：コンサルティング&ソリューション事業

(*2) 前第3四半期につきましては、四半期連結財務諸表を作成していないため、参考値として四半期財務諸表の数値を記載しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① コンサルティング&ソリューション事業

コンサルティング&ソリューション事業においては、既存顧客を中心としたシステム開発及び保守、自治体向けのコンサルティング、並びにiPhone等スマートフォンを利用した法人向けソリューションを提供致しました。

厳しい受注環境の中、計画通り受注を獲得できていないこと、並びにサービス事業における「電子決済ソリューション」の開発に人員の一部をシフトしたこと等により、売上及び営業利益は計画を下回って推移しました。

以上の結果、売上高は424百万円、営業利益は23百万円となりました。

② サービス事業

サービス事業においては、iPhone/iPod touch/iPadを利用した「電子決済ソリューション」に係る新製品「Incredist」の販売及び提案活動を積極的に展開しました。

当第3四半期までに大型案件を納品しており、売上及び営業利益は計画を上回って推移しました。

以上の結果、売上高は1,166百万円、営業利益は360百万円となりました。

(注) 前第3四半期は四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,598百万円、負債は999百万円、純資産は598百万円となりました。

なお、前連結会計年度末において、連結貸借対照表を作成していないため、前連結会計年度末との増減状況については記載しておりません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間の利益は、通期の業績予想値を上回っておりますが、当第4四半期以降の出荷分として計画していた「Incredist」が前倒しで納入されたこと、並びにコンサルティング&ソリューション事業の人員の一部を「電子決済ソリューション」の開発にシフトしていること等により同事業の収支が計画を下回って推移していることにより、当第4四半期の損益はマイナスを見込んでおり、通期着地は概ね計画通りとなる見込みです。

以上により、平成25年10月15日付で公表した通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更

①連結の範囲の重要な変更

当社は、平成25年10月1日付で持株会社体制へ移行し、これに伴う吸収分割により、事業を承継した株式会社フライトシステムコンサルティング（平成25年10月1日付で「株式会社フライト分割準備会社」より商号変更）は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

②持分法適用の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間において、Brekeke Software, Inc. は当社が保有していた株式をすべて売却したため、持分法適用の範囲から除外しております。

(3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(4) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

当第3四半期連結会計期間
 (平成25年12月31日)

資産の部	
流動資産	
現金及び預金	1,062,731
売掛金	126,526
商品	9,823
仕掛品	85,485
その他	52,448
貸倒引当金	△200
流動資産合計	1,336,815
固定資産	
有形固定資産	1,357
投資その他の資産	
長期貸付金	75,000
投資不動産(純額)	219,891
その他	39,967
貸倒引当金	△75,000
投資その他の資産合計	259,859
固定資産合計	261,217
資産合計	1,598,032
負債の部	
流動負債	
買掛金	38,011
短期借入金	549,900
1年内返済予定の長期借入金	8,892
未払法人税等	45,446
その他	104,900
流動負債合計	747,151
固定負債	
長期借入金	238,504
資産除去債務	8,605
その他	4,959
固定負債合計	252,068
負債合計	999,220
純資産の部	
株主資本	
資本金	1,205,123
資本剰余金	1,195,798
利益剰余金	△1,800,834
自己株式	△1,275
株主資本合計	598,812
純資産合計	598,812
負債純資産合計	1,598,032

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
売上高	1,591,239
売上原価	1,083,109
売上総利益	508,129
販売費及び一般管理費	277,167
営業利益	230,962
営業外収益	
受取利息	1,142
為替差益	9,628
受取賃貸料	1,600
その他	112
営業外収益合計	12,483
営業外費用	
支払利息	10,509
持分法による投資損失	416
不動産賃貸原価	3,806
その他	894
営業外費用合計	15,626
経常利益	227,818
特別利益	
投資有価証券売却益	7,249
特別利益合計	7,249
税金等調整前四半期純利益	235,067
法人税、住民税及び事業税	42,645
法人税等合計	42,645
少数株主損益調整前四半期純利益	192,422
四半期純利益	192,422

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	192,422
四半期包括利益	192,422
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	192,422

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間より四半期連結財務諸表を作成しており、比較すべき前連結会計年度末日の財務情報がないため、記載しておりません。

(セグメント情報等)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

四半期連結財務諸表を作成していないため、記載しておりません。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	コンサルティング &ソリューション事業	サービス事業			
売上高					
外部顧客への売上高	424,610	1,166,628	1,591,239	—	1,591,239
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	424,610	1,166,628	1,591,239	—	1,591,239
セグメント利益	23,564	360,782	384,347	△153,384	230,962

(注) 1. セグメント利益の調整額△153,384千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。